

株主メモ

上場証券取引所	東京証券取引所(市場第一部)
証券コード	4318
株式公開日	2001年10月23日
事業年度	4月1日～翌年3月31日
配当金受領株主確定日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人・ 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (フリーダイヤル)
1単元の株式の数	100株
発行済株式の総数	19,098,576株(2017年9月30日現在)
公告の方法	電子公告とする 公告掲載URL https://919.jp/ (ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告による公告をすることができない場合は、 日本経済新聞に掲載して行う)

【ご注意】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせ下さい。
株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせ下さい。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

株主様アンケート結果更新のご報告

37期(2017年3月期)株主通信に同封の「株主様アンケート」におきましては、多数のご回答をいただきまして、誠にありがとうございました。株主の皆様から頂戴いたしましたご回答及びご意見の一部を、コーポレートサイト内の以下のページにて掲載しておりますので、ぜひご覧下さい。



第37期(2017年3月期)株主様アンケート結果
<https://919.jp/ir/enquete.php>

株式等に関するマイナンバー お届出のご案内

2016年1月から、社会保障、税、災害対策の行政手続きにおいてマイナンバーの利用が開始されています。株式等の税務関係の手続きでもマイナンバーが必要となりますので、株主様のマイナンバーについては、お取引の証券会社等へお届出下さい。

マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

【証券口座にて株式を管理されている株主様】
お取引の証券会社までお問い合わせ下さい。

【証券会社とのお取引がない株主様】
下記のフリーダイヤルまでお問い合わせ下さい。

三菱UFJ信託銀行 証券代行部  0120-232-711

三菱UFJ信託銀行 大阪証券代行部  0120-094-777

本誌記載記事に関するお問い合わせ先

株式会社 **クイック** 経営戦略室(IR担当)

〒530-0018 大阪市北区小松原町2番4号
TEL 06-6366-0919
E-mail info-kabu@919.jp

「JPX日経中小型株指数」構成銘柄に選定

当社は、東京証券取引所と日本経済新聞社が共同で算出している「JPX日経中小型株指数」の2017年度(2017年8月31日～2018年8月30日)の構成銘柄に選出されました。この指数は、「投資者にとって投資魅力の高い会社」を構成銘柄とする「JPX日経インデックス400」と同じコンセプトを中小型株にも適用し、持続的な企業価値の向上や株主を意識した経営を行っている企業で構成する株価指数です。今後も投資家の皆様のご期待にお応えできるよう、さらなる企業価値の向上に努めてまいります。

 JPX-NIKKEI Mid Small

Human Resources Solution
 株式会社 **クイック**


東証一部上場
証券コード:4318

クイックグループ

第38期

第2四半期 株主通信

(2017年4月1日～9月30日)



株主の皆様へ

雇用情勢の改善を背景に、上半期は売上高・利益とも過去最高を更新しました。さらにM&Aによる英国進出等、今後の成長を見据えた投資にも取り組みました。

初冬の候、株主の皆様には平素より温かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに、第38期第2四半期(2017年4月1日から9月30日まで)の株主通信をお届けし、決算の概要についてご報告いたします。

上半期の国内経済は、企業収益の改善等により、景気は緩やかな回復基調となりました。しかしながら、中小企業を中心とした人手不足の深刻化や近隣諸国の地政学リスクの高まり、海外経済の不確実性等の問題は依然解消されておらず、景気の先行きは不透明な状況が続いています。

一方、国内の雇用情勢は、足元で有効求人倍率がバブル期の水準を超える等、企業の採用マインドは旺盛だったものの、少子高齢化による構造的な人材不足の影響により、新卒・中途採用に関わらず人材採用の難易度はますます高まってきています。こうした事業環境を受け、当社グループでも主力の人材サービス事業やリクルーティング事業に対するニーズが拡大し、上半期の業績は前期に続き増収増益、さらに売上高、利益とも過去最高を更新しました。

また、8月には英国ロンドンで人材紹介及び人材派遣を展開するCentre People Appointments Limitedを子会社化しました。北中米、アジアに続いてヨーロッパへの進出を果たしたことで、営業ネットワークも着実に拡大してきましたが、今後は各地域での事業基盤の強化、事業連携等を通じて海外事業の拡大を目指すとともに、グローバルレベルで人材サービスを展開するというグループビジョン「世界の人事部」構想の実現に取り組んでまいります。

下半期につきましては、企業の採用マインドの高まりとともに採用の難易度もさらに高まることが予想されますが、こうした事業環境に対応すべく、既存サービスの質向上や新たなビジネスモデルの創造に取り組み、他社との差別化や顧客満足度の向上等へとつなげてまいります。また、各事業において将来に向けた投資や人材採用・育成を進めることで生産性や競争力の強化を図り、今期計画の達成と来期以降の成長をより確実なものにしてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

2017年12月



代表取締役社長 兼 グループCEO

西 納 勉

売上高4期連続、営業利益・経常利益7期連続で過去最高を更新、通期計画達成に向け順調に進捗!!

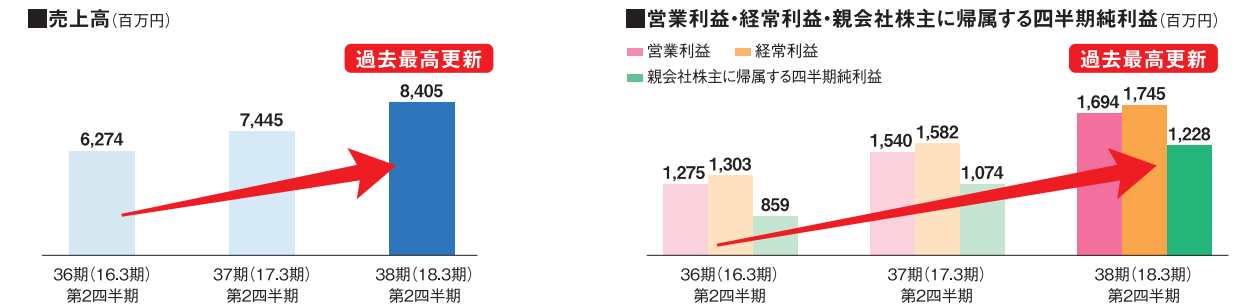
売上高 **84.0** 億円 前年同期比 **12.9%** 増

営業利益 **16.9** 億円 前年同期比 **10.0%** 増

経常利益 **17.4** 億円 前年同期比 **10.3%** 増

親会社株主に帰属する四半期純利益 **12.2** 億円 前年同期比 **14.3%** 増

- ◆主力の人材サービス事業に加え、ネット関連事業と海外事業を合わせたその他が2ケタの増収増益に
- ◆通期計画に対する進捗率は売上高が**52.2%**、営業利益が**78.1%**と順調に推移



News & Topics

【株】クイック

イギリスで人材サービスを展開する、Centre People Appointments Limited を子会社化

2017年8月、グループビジョンである「世界の人事部」構想の実現に向け、米国(LA・NY)、中国(上海)、ベトナム(ホーチミン)、メキシコ(アグアスカリエンテス)に続く海外第6の拠点として、英国(ロンドン)にて人材紹介、人材派遣を展開するCentre People Appointments Limited (Centre People社)の株式を取得し、子会社化しました。今後は、同社のノウハウを活かして顧客企業の人材採用ニーズに対応していくことで欧州における事業基盤を確立するとともに、クイックグループのグローバルネットワークのさらなる拡大を目指してまいります。



株式譲渡契約調印式にて



Centre People社 オフィスにて

人材サービス事業

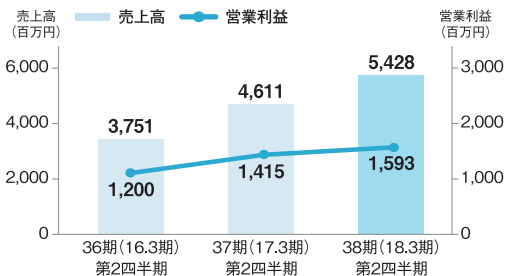
売上高 5,428百万円(前年同期比17.7%増)／営業利益 1,593百万円(同12.6%増)

■人材紹介

建設・土木分野や製造分野等での採用ニーズは依然として高く、一般企業を対象とした専門職種の人材紹介の売上高は堅調に推移しました。また、病院や介護施設等を対象とした看護師紹介につきましても、競合企業との登録者獲得競争が続く中、旺盛な採用ニーズを背景に業績は順調に推移しました。

■人材派遣・紹介予定派遣・業務請負等

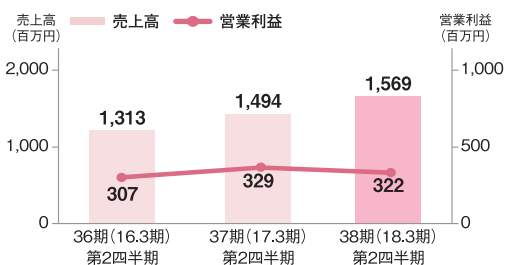
雇用環境の改善に伴う人手不足を受け、IT及びWeb関連職種をはじめとするパートタイム派遣や医療・福祉分野へのスタッフ派遣、保育士派遣が引き続き順調に推移しました。また、9月には、保育士のための求人・転職サイト「ほいとも大阪」を新たに立ち上げる等、保育士派遣分野における登録者獲得・ブランド構築に向けた投資も行いました。



リクルーティング事業

売上高 1,569百万円(前年同期比5.1%増)／営業利益 322百万円(同2.0%減)

新卒採用領域では、学生優位の売り手市場が続く中、2018年3月卒業予定の大学生向けの新卒採用広告に加え、2019年3月卒業予定の大学生向けのインターンシップ募集広告や合同企業説明会をはじめとするイベント出展等の取り扱いが拡大しました。また、中途採用領域でも、人手不足に伴う各企業の求人需要の高まりを背景に派遣登録スタッフやアルバイト・パート等の募集広告の取り扱いが順調に推移しましたが、広告原価や人件費等の増加により利益は伸び悩みました。



【株】クイック 人材紹介事業本部

医療機器業界専門の転職サイトの新規オープンに加え、看護師向け専門サイトのコンテンツ強化を実施

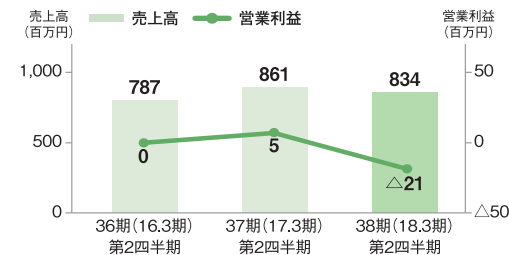
一般産業界向け人材紹介においては、医療機器業界の旺盛な中途採用ニーズに着目し、同業界専門の転職サイト「医療機器転職Biz」をオープンさせました。また、医療施設向け人材紹介においては、看護師専用コミュニティサイト「看護roo!」内にて、看護師イラスト素材の無料提供を開始しました。看護師の方々の方々の院内資料やポスター作成に利用頂くことで、「看護roo!」のブランド認知度向上を図ります。



情報出版事業

売上高 834百万円(前年同期比3.1%減)／営業損失 21百万円(前年同期は営業利益5百万円)

住宅情報誌「家づくりナビ」の広告取り扱いが堅調だったほか、折り込みチラシ等のポスティングサービスやコンシェルジュサービス「ココカラ。家づくり」が好調でした。しかしながら、競合他社との競争激化により石川・富山・新潟いずれの地域においても生活情報誌が苦戦しました。こうした中、金沢のラーメン専門情報誌「金沢情報®特別編集 金沢ラーメン案内」や全国各地の方言動画を撮影・投稿・シェアできるスマートフォンアプリ「namarii(ナマリー)」等、新たなメディアの立ち上げにも取り組みました。



その他

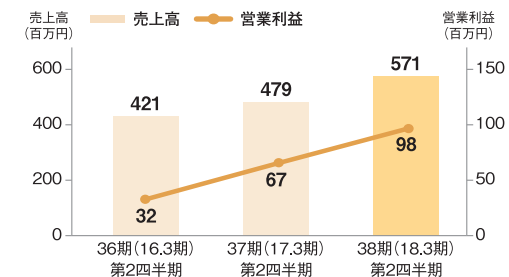
売上高 571百万円(前年同期比19.3%増)／営業利益 98百万円(同44.9%増)

■ネット関連事業

人事・労務に関する情報ポータルサイト「日本の人事部」の広告収入が順調に拡大しました。また、5月には東京・大阪にて、今や規模・知名度とも日本を代表する人事イベントとなった「HRカンファレンス 2017-春-」を開催し、来場者数は4日間でのべ10,000人を超え、売上高も過去最高を更新する等、業績拡大に大きく貢献しました。

■海外事業

QUICK USA, Inc.は、外国人の労働ビザ取得の厳格化の影響により、米国全土で求職者優位の売り手市場が加速し、競合企業との日英バイリンガル人材の登録者獲得競争が激化する中、人材紹介・派遣とも順調に推移しました。上海クイック有限公司は、主力の人事労務コンサルティングがほぼ横ばいでしたが、顧客企業である現地日系企業の採用ニーズ減少により人材採用コンサルティングが伸び悩みました。また、QUICK GLOBAL MEXICO, S.A. DE C.V. は、自動車関連メーカーを中心に現地日系企業への通訳や営業職・経理職等の人材紹介が好調でした。



【株】ワークプロジェクト

保育士のための求人・転職サイト「ほいとも大阪」をオープン

保育士採用ニーズの高まりを受け、正社員からパート、派遣等まで、大阪の保育士求人情報1,000件以上を提供する求人・転職サイト「ほいとも大阪」をオープンしました。また、同サイトでは求人情報だけでなく、保育士の方々の方が仕事やプライベートを充実させるための情報等、幅広いコンテンツを揃え、保育に関わる全ての人を応援しています。



【株】カラフルカンパニー

「石川県ふるさとワーキングホリデー」事業を受託

石川県への若者の移住促進に向け、石川県が今年度初めて実施する「石川県ふるさとワーキングホリデー」事業を受託しました。公式サイト作成をはじめとする同事業の広報や参加者の募集、受入企業とのマッチング、交流イベントの企画・運営等を通じ、移住のきっかけづくりに携わることで、地域活性化に貢献しています。



連結貸借対照表

	37期 (2017年3月31日)	38期第2四半期 (2017年9月30日)	増減額
【資産の部】			
流動資産	6,988	7,006	18
現金及び預金	4,669	5,120	451
受取手形及び売掛金	1,784	1,479	△305
繰延税金資産	201	116	△85
その他	334	291	△42
貸倒引当金	△1	△1	0
固定資産	2,312	2,722	410
有形固定資産	743	860	116
建物及び構築物	391	486	95
車両運搬具	2	5	2
工具、器具及び備品	64	82	17
土地	276	276	—
リース資産	7	6	△1
その他	—	3	3
無形固定資産	219	359	139
投資その他の資産	1,348	1,503	154
投資有価証券	882	1,003	120
敷金	410	442	32
繰延税金資産	3	3	△0
その他	70	67	△3
貸倒引当金	△18	△13	4
資産合計	9,300	9,729	428

ポイント解説

- ① 主な要因として、前期末(3月)に売上計上が集中した新卒採用商品の売掛金の回収、買掛金の支払いにより、それぞれ減少しました。
- ② 主な要因として、8月に株式取得により子会社化したCentre People社に関するのれん145百万円の発生があります。
- ③ 保有する投資有価証券の評価額の上昇によります。
- ④ 主な要因として、親会社株主に帰属する四半期純利益1,228百万円の計上及び剰余金の配当△300百万円があります。
- ⑤ 新たに連結子会社となったQUICK GLOBAL MEXICO, S.A. DE C.V.及びCentre People社の非支配株主持分の発生によります。

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております

	37期 (2017年3月31日)	38期第2四半期 (2017年9月30日)	増減額
【負債の部】			
流動負債	3,301	2,617	△683
買掛金	653	239	△413
短期借入金	189	188	△1
未払金	713	682	△30
未払費用	376	375	△0
未払法人税等	522	512	△10
未払消費税等	226	217	△8
賞与引当金	406	195	△211
役員賞与引当金	52	—	△52
返金引当金	15	23	8
その他	144	182	38
固定負債	203	264	61
繰延税金負債	153	209	55
資産除去債務	37	47	9
その他	11	7	△3
負債合計	3,504	2,882	△621
【純資産の部】			
株主資本	5,368	6,284	915
資本金	351	351	—
資本剰余金	307	307	—
利益剰余金	4,728	5,644	915
自己株式	△19	△19	△0
その他の包括利益累計額合計	427	549	122
非支配株主持分	—	12	12
純資産合計	5,796	6,846	1,050
負債純資産合計	9,300	9,729	428

連結損益計算書

	37期第2四半期 (2016年4月1日～9月30日)	38期第2四半期 (2017年4月1日～9月30日)	増減額
売上高	7,445	8,405	959
売上原価	2,621	3,183	561
売上総利益	4,823	5,222	398
販売費及び一般管理費	3,283	3,527	244
営業利益	1,540	1,694	154
営業外収益	43	54	10
営業外費用	1	3	2
経常利益	1,582	1,745	162
特別損失	0	—	△0
税金等調整前四半期純利益	1,582	1,745	162
法人税等合計	507	515	7
四半期純利益	1,074	1,229	155
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	1	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,074	1,228	153

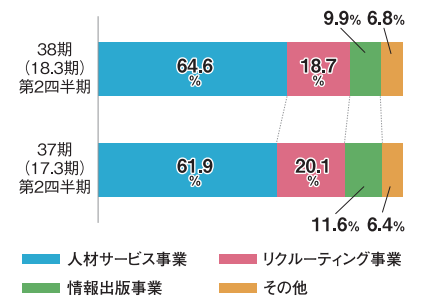
連結キャッシュ・フロー計算書

	37期第2四半期 (2016年4月1日～9月30日)	38期第2四半期 (2017年4月1日～9月30日)	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,490	1,008	⑧
投資活動によるキャッシュ・フロー	△112	△315	⑨
財務活動によるキャッシュ・フロー	△232	△308	⑩
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	1	
現金及び現金同等物の増加額	1,138	386	
現金及び現金同等物の期首残高	3,400	4,639	
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加	—	65	⑪
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,539	5,090	

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております

ポイント解説

- ⑥ 報告セグメント別の売上高構成比は、以下の通り、主力の人材サービス事業の割合が2.7ポイント拡大しました。



- ⑦ 主な要因として、人材サービス事業におけるプロモーション強化及び派遣売上増加に伴う労務費の増加、今期より連結子会社となった(株)ワークプロジェクトの経費の計上があります。

- ⑧ 法人税等の支払い436百万円、仕入債務の減少361百万円等により資金が減少しましたが、税金等調整前四半期純利益の計上1,745百万円等により資金が増加しました。

- ⑨ 主な要因として、Centre People社の株式取得による支出142百万円、固定資産の取得による支出138百万円があります。

- ⑩ 主な要因として、配当金の支払い299百万円があります。

- ⑪ (株)ワークプロジェクト及びQUICK GLOBAL MEXICO, S.A. DE C.V.が今期より連結子会社となったことによります。